

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B1)

(11)特許番号

特許第7475572号
(P7475572)

(45)発行日 令和6年4月30日(2024. 4. 30)

(24)登録日 令和6年4月19日(2024. 4. 19)

(51)Int. Cl. F I
A 6 1 J 1/05 (2006. 01) A 6 1 J 1/05 3 1 3 H

請求項の数 3 (全 12 頁)

(21)出願番号 特願2023-159329(P2023-159329)
(22)出願日 令和5年9月25日(2023. 9. 25)
審査請求日 令和6年2月29日(2024. 2. 29)

早期審査対象出願

(73)特許権者 504357945
藤田 博紀
千葉県我孫子市湖北台1-1-3
(73)特許権者 513269310
藤田 春香
千葉県我孫子市湖北台1-1-3
(74)代理人 100124316
弁理士 塩田 康弘
(72)発明者 藤田 博紀
千葉県我孫子市湖北台1-1-3
(72)発明者 藤田 春香
千葉県我孫子市湖北台1-1-3

審査官 岡本 健太郎

最終頁に続く

(54)【発明の名称】目薬のキャップ用仮置き材

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体容器とこの本体容器に着脱自在に接続されるキャップを備える目薬の前記キャップを前記本体容器の使用時に、一時的に仮置きするための仮置き材であり、

上面が凹面状をし、前記キャップが載置される受け部と、この受け部の軸方向に連続し、前記キャップの軸方向の閉鎖側先端部が対向し、この閉鎖側先端部が接触し得る被係止部を備え、

前記受け部の前記上面は、前記被係止部より遠い側から前記被係止部側へかけて下方へ傾斜しながら、幅方向中心が最も低く、この中心から幅方向両側にかけて次第に上向きに傾斜し、前記キャップの軸方向両端面以外の外周面に、その表面の開放側端面から前記閉鎖側先端部に向かう線に沿った方向に線接触、または面接触して前記キャップを支持することを特徴とする目薬のキャップ用仮置き材。

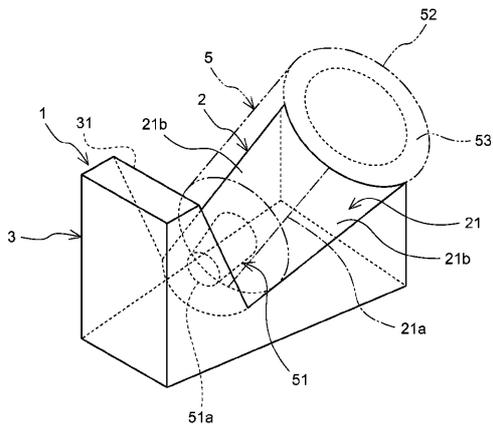
【請求項2】

前記受け部の前記上面は、前記キャップの前記軸方向両端面以外の外周面にその表面の前記開放側端面から前記閉鎖側先端部に向かう線に沿った方向の少なくとも2本の線で線接触して前記キャップを支持することを特徴とする請求項1に記載の目薬のキャップ用仮置き材。

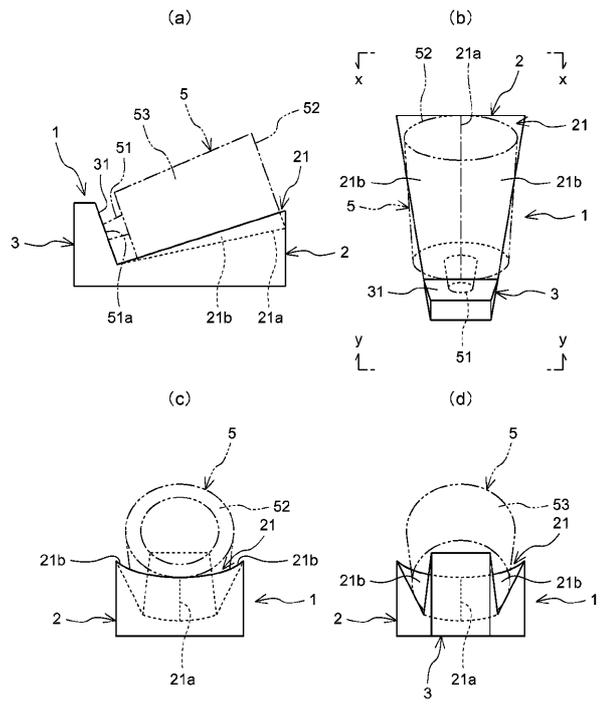
【請求項3】

前記受け部の前記被係止部寄りの位置から前記受け部の軸方向に距離を置いた部分に、前記受け部の幅方向に連続し、上面が前記受け部の前記上面に連続した面を持つ翼部が形

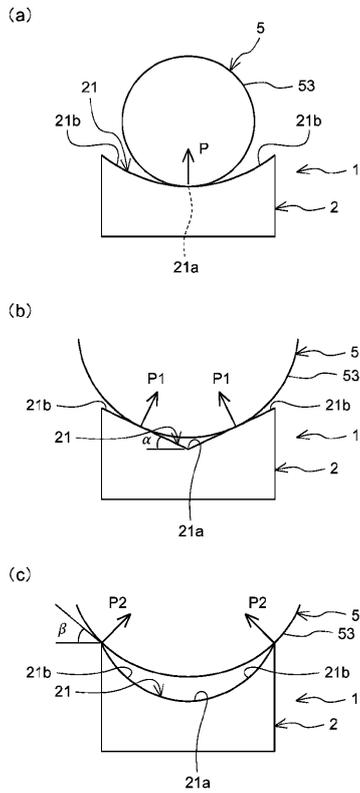
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

